

MARCH.2016

# 社協だより3 ONAGAWA



## 年の差「64歳以上！！」

今年度最後となる「ふれあい交流会」は、ホテル華夕美を会場に行われ、103名の方々にご参加いただきました。

昨年は、インフルエンザが猛威を振るい、子供たちのおゆうぎ披露はやむなく中止となりましたが、今年は子供たちのおゆうぎが会場内を優しい雰囲気してくれました。

小さなお子さんと暮らしている参加者は少なく、子供たちの愛くるしい姿に優しい空気に包まれた会場内でした。

核家族化が進む中、高齢者と子供たちが一堂に会することができる機会はどちらにとっても貴重なことです。

お忙しい中、衣装の準備をしてくださった保護者の方々、おゆうぎのご指導をいただいた先生方、ありがとうございました。

この広報誌の発行には、皆さまから頂戴した会費を使わせていただいております。

# 平成27年度「ふくしがくしゅう」のあらまし

「社協」にとって、この福祉教育に取り組むことの意義はとても大きく、地域福祉を進めていくには福祉教育が必要不可欠であると言っても過言ではありません。

今年度も、本会では、女川小学校の3年生と一緒に福祉教育の様々な取り組みを行ってきました。その取り組みをご紹介します。

## プログラム1. 「ふくし」ってなあに

子供たちと一緒に「ふくし」を考えました。「福祉」が目のみえない人や耳の聞こえない人の福祉というだけではなく、「ふだんのくらしのしあわせ」が福祉であるということを学習しました。

## プログラム2. うみねこ園利用者との作品づくり

障害を持つ人たちとの交流を通して子供たちが純粋に感じることや時間の経過と共に気持ちの変化が子供たちに生まれることは、とても大切な営みであると感じます。

ありのままを受け入れができるからこそ、その距離感がグーンと縮まります。



## プログラム3. うみねこ園利用者との交流

子供たちがうみねこ園利用者との交流のために準備したプログラムを楽しみました。「わかりやすいように」と言葉を選びながらかかわる子供たちの姿に、福祉教育の意義を感じました。



## プログラム4. 学習発表会へのご招待

うみねこ園利用者が、小学校の学習発表会への招待を受け観覧にいってきました。

休憩時間には、昨年度福祉学習を通じて出会った子供たちが、利用者の周りを囲んでくれました。



## プログラム5. 体験してみよう

車いす体験・白杖体験・ユニバーサルデザインなどの体験活動を新しくできた「まちなか交流館」で実施しました。



## プログラム6. うみねこ園に行ってみよう

これまで交流を重ねてきたうみねこ園の施設見学を行いました。活動体験では、生産活動と余暇活動の体験を行い、その後は12月に亡くなった利用者に想いを寄せながらひとときを過ごしました。

— 人それぞれが持つ違いを認め合いながら、  
誰もが安心して暮らせる地域を目指して —

何を大切にこの福祉学習を進めるか、またどのようなプログラムがより子供たちの意識に働きかけられるかなど、先生方と一緒に取り組んできた福祉学習でした。

# うみねこ園だより



## あなたにありがとう

福祉教育の一環で継続してきた女川小学校3年生との交流も4回目となりました。

1月22日は、日頃の利用者さんの活動の様子を体験するためうみねこ園を訪れました。

2つの班に分かれて生産活動（ポリ袋作業）や創作活動（ペーパーブロック）に挑戦。利用者さんにとっても教える立場ということもあり、いつもとは違った表情で一生懸命にかかわる姿が頬もしく感じられました。苦戦している子供たちがいると優しく声掛けをし「私を見てください」とわかりやすく説明するなど、自分なりに教え方を工夫している姿もありました。

交流会の最後には、施設長から共に過ごした利用者が亡くなったことを、報告すると涙を流していた子供たち。

短いながらも共に過ごした時間を大切にしながら、「あなたにありがとう」のうたで偲ぶことができました。



## 鬼は～外～福は～内

今年もうみねこ園では、無病息災を願って豆まきをおこないました。

前日までの利用者さんは、

「今年の鬼は、誰がするの？」

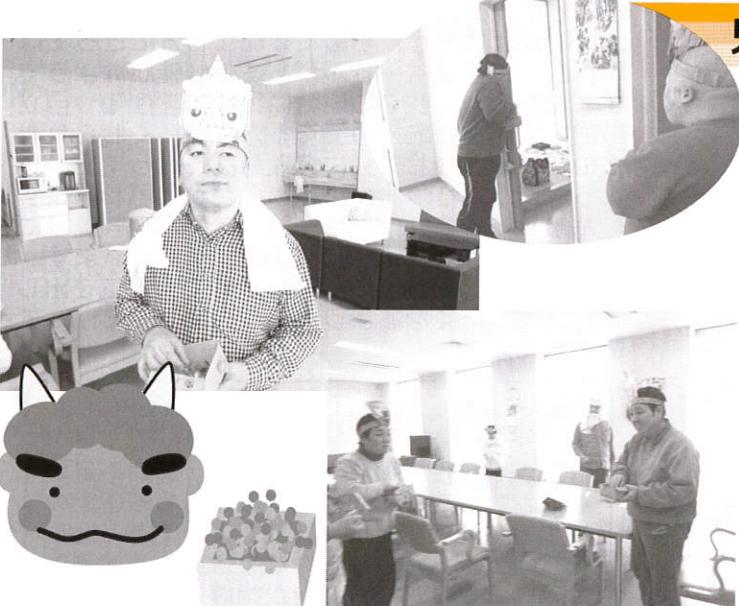
「私はぜったい鬼はしません」等と何かと気になっている様子…。

当日はクジをひいて鬼をきめ、豆まきスタート。「鬼は～そと！」

福は～うち!!」と願いをこめて豆をまく利用者さんたちでした。



さて、みなさんのなかにいる「鬼」は退治できたでしょうか。



## 感謝の気持ちを忘れずに



長期にわたり、月に一度愛知県安城市よりうどんの提供をいただいているボランティアさんがいます。

震災当時から女川町内の各地区や施設に何度も足を運ばれておりとても元気な方々です。

うみねこ園には、うどんが大好きな利用者さんが多く、毎月届けられるうどんを前に感謝の気持ちと満面の笑みを浮かべながら食している利用者さんたちです。



女川町ボランティアセンターだより 3月号

緊急時 連絡先一覧表		
直営・公認機関		
名前	性別	年齢
山口県警	男	31歳
山口県立病院	男	54・3131
山口県立看護専門学校	女	21歳
山口県立幼稚園	女	4歳
山口県立保健福祉センター	女	53・2222
山口県立障害者支援センター	女	21歳
山口市立幼稚園	女	53・4990
山口市立保育園	女	53・4990
山口市立幼稚園	女	53・4333
山口市立保育園	女	53・4333
医療機関		
名前	性別	年齢
山口県立病院	男	31歳
山口県立看護専門学校	女	21歳
山口県立幼稚園	女	4歳
山口市立保健福祉センター	女	53・5511
山口市立幼稚園	女	53・5511
山口市立保育園	女	53・5511
警察・税金・駅		
名前	性別	年齢
山口県警	男	31歳
山口県立病院	男	54・3131
山口県立看護専門学校	女	21歳
山口県立幼稚園	女	4歳
山口市立保健福祉センター	女	53・2222
山口市立幼稚園	女	53・4990
山口市立保育園	女	53・4990
山口市立幼稚園	女	53・4333
山口市立保育園	女	53・4333
緊急：110番／ 救急：消防：119番		
あなたの緊急連絡先（直営）		
名前	性別	年齢
あなた	女	31歳

「緊急時連絡先一覧表」を作り直しました!  
～もしもの時の連絡先を十分把握していますか？

2011年の12月末に支援物資に添えて仮設住宅に全戸配布した「緊急時連絡先一覧表」をご存じでしょうか？公共機関の休みの日程や電話番号を一覧表にして、冷蔵庫など目立つところに貼っていただき、少しでも不安なく仮設住宅で初めてのお正月を迎えていただくために作ったものでした。

この一覧表が現在も少なからず使われていることと、緊急時に適切な連絡先が判らず、パニックになってしまった、というケースも聞かれ、あらためてこの一覧表の意義に気付かされ、現在の状況に合わせて作り直すことになりました。

一人暮らしの高齢者が倒れられた時に、身内の連絡先が判らない、というケースもあることから、「あなたの緊急連絡先」という項目も新たに付け加えました。

「命を守るため」と言っても過言ではない、この一覧表を地区住民自らの手で声掛けしながら配っていた

3月3日(木)～3月8日(火)の  
6日間、東日本大震災犠牲者への鎮魂  
の願いが込められた「かえりびな」  
2600体の展示会が行われます

「東日本大震災の行方不明者が早く見つかって戻ってきて欲しい」という願いが込められた「かえりびな」の手作り講座が、「仙台かえりびなの会」主催で2015年10月から全5回行われ、のべ95名の方々がかえりびなの手作りに取り組みました。

このたび、その手作り講座で作り上げられたものを含む、かえりびな2600体（震災の行方不明者数に相当）の展示会が、女川町の地域医療センター2階のセンターアトリウムをお借りして行われることとなりました。

展示期間中、仙台かえりびなの会の会員と手作り講座に参加いただいた女川町民の方々がボランティアで常駐して、来場者をお迎えいたします。

会場内には少しばかりですが、お茶を飲みながら落ち着いてお話を出来るスペースやメッセージが書き込めるノートもご用意しております。

震災の犠牲者に思いを馳せる鎮魂の展示会への皆様のご来場をお待ちしております。



日 程	2016年3月3日(木)～3月8日(火)
時 間	午前10時～午後4時(入場無料)
場 所	女川町地域医療センター 2階センターアトリウム

3月26日(土)「女川町復幸祭2016」  
会場内を巡回する手助けボランティア募集

このたび3月26日（土）女川駅前で行われる「女川町復幸祭2016」にて、誰にとっても楽しんでいただけるバリアフリーのイベントになるための一助として、会場内を巡回して、体が不自由な方や高齢者など困っているひとを手助けする女川町民ボランティアをボランティアセンターで10名程度、配置することになりました。

ご協力いただける方はボランティアセンターまでお申込み下さい。安心してご参加いただけるようボランティア保険に加入いただき、車イスの操作・目の不自由な方の介助等、事前講習も予定しております。

女川町一丸となって開催する大きな復興のイベントを  
福祉的に充実させるための初めての取り組みに、ぜひ  
皆様のご協力をお願いします！

だくことが、地域の繋がりづくりともなり、ぜひ地域ぐるみでの配布をご検討いただきたいと思います。

1月には大原北区にて全戸配布が行われています。

**お茶会の参加者を増やすために  
～楽しいチラシと声掛けでお誘いのススメ～**

地区や仮設のお茶会は住民同士が顔を合わせて活き活きと交流するサロンとして、欠かせないものであり、介護予防の効果も高く、ボランティアセンターではお茶会の立ち上げをはじめ、出前講座や民謡団体の派遣やレクリエーション用具の貸出し等、内容の充実を様々な方法で支援してきました。

どうしても参加者が固定されてしまい、なかなか新しいメンバーが入ってこない、という状況はよく聞かれますが、初めて参加する方にとっては精神的に大きなハードルがあるのは確かなようです。また今後、在来の地区に災害公営住宅や自立再建等、新たに転入してくる方々も多くおられますので、地区のお茶会に気兼ねなく入っていいけるような環境作りやお声掛けが必要かと思われます。

ボランティアセンターではお誘いの声掛けに使うチラシづくりのお手伝いも行っています。普段の楽しいお茶会の写真も載せて、勇気を出して行ってみたくなるようなチラシを作って誘ってみませんか？

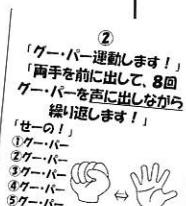
「自宅でかんたんレクリエーション」作りました！

針浜仮設住宅の自治会長より、運動不足が懸念される高齢者が自宅で取り組める運動の手引書の要望があり、誰でも書いてある通りに読み上げるだけで様々な手遊びや準備運動などのレクリエーションが指導できる冊子

「誰でもかんたんレクリエーション」を元に自宅でも取り組めるようA3サイズの紙一枚にまとめた「自宅でかんたんレクリエーション」を作成しました。

深呼吸に始まり、手足の運動や口の体操など18種類のメニューに取り組むことが出来、お茶会でひとり1メニューずつ分担すれば知らない間に誰でも先生役になれる手引書にもなっています。

る予引書にもなっています。希望者への配布やお茶会での実演指導も行えますので、ボランティアセンターまでぜひご相談下さい。



## 皆様の善意に感謝申し上げます。

寄附金 (1月9日～2月8日受付分) (敬称略)

	氏名	金額
大沢	大沢・安住実業団	10,000円
黄金	女川スーパーおんまえや	10,000円
栃木県	瑞穂野地区まちづくり協議会 瑞穂野地区社会福祉協議会	100,000円

## 一針一針



大沢行政区にお住まいの阿部けさ子さんからぞうきん100枚を寄贈いただきました。目と指先の訓練のために縫い続けているそうです。

一針一針心を込めて縫って下さったぞうきんは、  
本会にあるうみねこ園や福祉仮設住宅、  
町内の事業所などへお渡しし

ご活用いただきます。

誠に、ありがとうございました。



## アルコール問題に関する 相談をしてみませんか？

### ●対象

- ・アルコール関連問題で困っている本人及び家族等
- ・アルコール関連問題の相談を受けている相談従事者等

●日時 3月18日(金) 10:00～15:00

●場所 石巻合同庁舎 別棟2階 相談室

### ●内容

- ・相談員による相談及び関係者によるケースカンファレンス
- ・困難事例へのスーパーバイズ及び事例検討

### 申込・問合せ先

宮城県東部保健福祉事務所 母子・障害班  
電話 0225-95-1431 事前予約制です

## 力作、求む！！

～お寄せください、あなたの作品～

毎月発行する「社協だより」に、みなさんの作品や記事を掲載してみませんか？！

◎皆様の作品(手芸や書道、絵画など)や皆様の思い出の品などもエピソードを交えながら掲載させていただきます。

### ぜひ本会まで

どしどしお寄せください。



～連絡先～  
女川町社会福祉協議会 53-4333

## 3月の暮らしとこころの相談会

仕事などにより、平日にご相談できない方を対象とした弁護士による休日無料法律相談を行っています。  
3月は社会福祉士・精神保健福祉士によるこころの相談も含めた総合的相談です。

借金、離婚、家庭内暴力、いじめ、パワハラ、セクハラ、解雇、生活困窮、介護、ひきこもり、人間関係、ストレス、眠れない等、おひとりで悩まず専門家へご相談ください。

日時：12日(土)・27日(日)10時～16時

場所：法テラス東松島

(東松島市矢本字大溜1-1コミュニティセンター西側)

※お住まいの場所に関係なくどなたでも無料で相談できます。

※事前予約の方が優先となります。

※通常の時間帯の法律相談も行っています。

予約・問合せ先 法テラス東松島

TEL 050-3383-0009

(受付：平日9時～17時／相談：平日10時～16時)

## 3月の介護予防「地域遊びリテーション・ふまねっと」

実施内容については地域遊びリテーション ■・ふまねっと ■となります。

地区	日時	地区	日時	地区	日時	地区	日時
大沢	14日13:30	一小仮設	16日 9:30	運動公園住宅	24日 9:30	旧三小	3日 9:30
浦宿一	8日13:30	上三	24日13:30	清水	8日 9:30	指ヶ浜	3日13:00
浦宿二	9日13:30	上四	10日13:30	新田	お休み	出島	お休み
浦宿三	10日13:30	上五	7日13:30	日蕨	15日13:30	バイパス東	10日 9:30
針浜	14日13:30	西二	22日14:00	小乗	14日 9:30	バイパス西	9日 9:30
針浜仮設	お休み	多目的運動場	15日 9:30	宮ヶ崎	お休み	蟹田・内田	28日 9:30
旭が丘	お休み	野球場	25日 9:30	桐ヶ崎	お休み		

※3月の会場は蟹田仮設集会所

# 各種助成券申請 手続きの時期です

現在紙おむつ等助成券や訪問散髪料金助成券を利用されている方は、平成28年度分の交付に向けた申請手続きが必要となりますので、4月からの利用に向けて3月中に手続きをお済ませください。

なお、現在ご利用の各種助成券の使用期限は平成28年3月31日までとなっておりますので、お早めにご利用ください。

## 紙おむつ等助成券

対象者	町内に住所があり、在宅で生活する概ね65歳以上の高齢者または重度心身障害者(児)で、次のいずれかに該当し、助成券が必要と認められる方 ①要介護1～5の判定を受けている方 ②身体障害者手帳1～2級の交付を受けている方 ③療育手帳A判定の交付を受けている方		
助成金額	年間で最高12枚まで		
	要介護4・5	月額 5,000円	
	要介護3	月額 4,000円	
	要介護1・2	月額 3,000円	
	重度心身障害者(児)	月額 5,000円	
利用できる店舗	ツルハドラッグ女川店、イオンスーパーセンター石巻東店 宮城県薬剤師会会館女川薬局		

※なお、この助成券で購入できる品目は、紙おむつ・尿取りパッド・使い捨て手袋・清拭剤のみとなっております。その他のものは購入できませんのでご注意願います。

## 訪問散髪料金助成券

対象者	町内に住所があり、在宅で生活する概ね65歳以上の高齢者または重度身体障害者(児)で、次のいずれかに該当し、また、寝たきり状態等にあり、助成券が必要と認められる方 ①要介護3～5の判定を受けている方 ②身体障害者手帳1～2級の交付を受けている方
助成金額	1枚あたり2,000円、年間で最高6枚まで
利用できる店舗	【理容所】梶原理容所、滝川とこや、カットハウスブラウン、ヤナギ理容所 横山理容所 【美容所】サロン・ド・スズキ、アイ美容室、サロンドアミィ、美容 京 ビューティサロンみゆき、パーマ屋ありす、すずらん美容院

### 申請に必要なもの

- ①印鑑（認印でかまいません）
- ②証明する保険証等  
(介護保険被保険者証・  
身体障害者手帳・療育手帳)

お問合せ・申請手続きは・・・

**女川町社会福祉協議会**

(地域医療センター向かい側 地域福祉センター1階)

TEL 53-4333